

令和 6 年度 第 1 回 浜松市中央卸売市場開設運営協議会
会 議 録

- 1 開催日時 令和 6 年 10 月 29 日（火）
午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分
- 2 開催場所 中央卸売市場 大会議室
- 3 出席状況 鈴木 浩孝、松井 英司、川村 雅美、影山 太翼、
（敬称略） 鈴木 行弘、大村 浩司、加藤 弥生
（出席委員 7 名／10 名）

静岡県 農業戦略課農業戦略班長 植田 陽子
（勝地孝則委員欠席のため）

事務局	農林水産担当部長	清水 克
	中央卸売市場長	水谷 寿樹
	中央卸売市場長補佐	浅井 祐城
	管理グループ長	工藤 智弘
	施設整備グループ長	安達 義光
	業務グループ長	宮崎 泰充
	施設整備グループ	山下 翔平
	施設整備グループ	坂井 宏旭
	施設整備グループ	鈴木 克幸

4 傍聴者 0 名

5 議 事 内 容

- (1) 再整備事業の進捗状況について
- (2) 令和 6 年度視察研修について
- (3) その他

6 会議録作成者 浅井 祐城

7 記録の方法 会議録：発言者の要点記録（録音の有無：有）

8 会 議 記 録

- | | |
|------------|------------|
| 1 開会 | |
| 2 開設者のあいさつ | 清水農林水産担当部長 |

3 議題

(1) 再整備事業の進捗状況について

(水谷市場長)

(進捗状況について報告(資料1))

- ・浜松市では、一定の規模で新たな整備等を行う場合は、多様な PPP/PFI の検討をすることとされており、本市場の再整備事業においても、相当規模の整備事業となることから、このマニュアルの手順に従って検討を進めてきた。
- ・これまでは「基本構想」、「基本計画」の策定、「導入可能性調査」を実施し、庁内の関係機関で組織する「資産経営推進会議」において、PPP/PFI 導入を基本に検討を進めることとされた。
- ・今年度からは「事業化検討段階」に移行し、再整備事業を遂行する民間事業者の公募に向けて、実施方針、要求水準書、入札説明書等の検討・作成へと進んでいき、契約締結に至るまでのおよそ2年半にわたり、準備作業や事業者選定を進めていくこととなる。
- ・実務が円滑に進められるよう、本市の通例として官民連携事業の知識経験を持つ民間事業者に必要な業務支援を受けており、本事業においても「浜松市中央卸売市場再整備事業に係るアドバイザー業務」として委託業務を行うこととし、市議会の議決を受け、支援事業者の選定を行い、業務提案やヒアリングによる選考の結果、再整備基本計画の策定時においても支援いただいたメンバーを中心とする「アルパック・地域経済研究所特定業務委託共同企業体」を選定した。
- ・引き続き、アンケート調査、個別ヒアリングをはじめ、市場のあり方研究会やワーキンググループでのご意見等をいただきながら、進めていきたい。
- ・また、契約締結に向けては、さまざまな専門分野の知識が必要とされることから、法務、建設、物流・流通及び市の職員も含めた附属機関として「PFI 等審査委員会」を組織し、幅広く意見を伺うこととしている。

(安達施設整備G長)

(場内事業者向け勉強会の報告(資料2))

- ・流通経済大学の矢野裕児教授に講演いただき、物流需要の増大や2024年問題による農産物物流や卸売市場物流への影響や課題の分析紹介のほか、既存の商習慣の見直しの必要性についての問題提起等をいただいた。

(意見交換会について報告(資料3))

- ・農林水産省卸売市場室の戎井室長をお招きし、生鮮食料品物流の合理化を目指すための国の支援策等についてお話をいただいた。
- ・他市場の取組事例もご紹介いただきながら、できる限り無駄を省いてコストダウンと物流の効率化を目指していくことの必要性や、事業組合による補助事業の実施可能性についてのアドバイスをいただいた。

(部門別説明会の報告(資料4))

- ・青果物、水産物、関連店舗の部門別にこれまでの議論の振り返りとして、基本計画での施設配置案をもとに建物のイメージを3D化した画像を示しながら、今後の論点などについて説明した。

(鈴木会長)

- ・勉強会に参加された感想などをお聞きしたい。

(鈴木委員)

- ・建設費を抑えていく必要がある中で、富山市場や石巻市場は建設費を抑えた例であり、勉強すべきと感じた。

(水谷市場長)

- ・物流の働き方改革による消費者への影響はどうか。

(加藤委員)

- ・消費者団体では現在のところ食品ロスをテーマとして取り組んでおり、物流については勉強中である。
- ・スーパーで品物が無いという状況は今のところ聞いていないが、消費者への影響は、これから現れてくるのかもしれない。

(アルパック)

- ・支援事業について説明(資料5)

(影山委員)

- ・市場内の動線についてどのように考えているのかを関連協にも情報が来るようなフローにしてほしい。

(川村委員)

- ・使用料は規模が大きくなるほど影響が大きいのので、今後も具体的に議論し、方向性を見出していきたい。

(大村委員)

- ・再整備に当たっては、出荷者やドライバーにとっても、わかりやすい動線をお願いしたい。

(松井副委員長)

- ・浜松市は東西流通の中間地点で、その優位性をいかに活かしていくかが重要である。余剰地には、物流施設をつくるのが良いと考える。

(2) 令和6年度視察研修について

(浅井市場長補佐)

- ・視察研修候補地について説明(資料6)

(松井副委員長)

- ・石巻の大屋根は建設費縮小の参考になると思うので、可能であれば見学したい。

(3) その他

(宮崎業務グループ長)

- ・令和6年度市場取引状況について報告（資料7）

（安達施設整備グループ長）

- ・令和6年度の主な工事概要について説明（資料8）
- ・市場まつりについて連絡

（鈴木委員）

- ・市場は食品を扱う場所であり、市場まつりでは市民の利用もあるため、トイレを清潔にすべき。
- ・路面がかなり傷んでおり、リフトの走行が近隣への騒音となるため、修繕いただきたい。
- ・せり見学会は、応募条件に制約があって参加できなかった子供たちもいるので、夏休みだけでなく春休み等にも開催を検討してほしい。

（松井副委員長）

- ・8月はせりをするものがないため、春先の方が活気はある。

（植田静岡県農業戦略課農業戦略班長）

- ・平成29年度に活用した補助事業の目標に未達のため、新たな補助事業は実施できない。補助金返還すればよいという話ではないため、今後も県と関東農政局との協議が必要となる。
- ・現市場整備時に国庫補助金を活用しているが、処分制限期間の50年に満たない施設があれば、補助金返還を求められる場合がある。5月に関東農政局から財産管理台帳を確認するよう言われているため、対応をお願いしたい。
- ・補助金の申請には時間を要する。事例としては事業実施の前年の6月には国への補助金申請書類を提出した。それ以前に事前調整が必要である。早め早めの相談等、関係機関とスケジュールを共有し、対応してほしい。
- ・11月に全国お茶まつりが開催されるので、ご協力をお願いしたい。

4. 閉会のあいさつ

9 会議録署名人 なし